

輝く卒業生たち

ソニーグループ株式会社

松尾 静香さん

Profile

岡山県出身。2020年3月滋賀大学経済学部企業経営学科卒業。同年4月ソニーグループ株式会社入社。グローバル経理センター国内経理2部固定資産管理課所属。高校時代まではテニスに打ち込み、大学では学業外でも自己研鑽を積みたとい、女子バスケットボール部のマネージャーに。一からルールを覚え、指導者の資格を取得。身につけたコーチングやマネジメントの力も業務に役立っている。

つねに厳しい環境を選択 知識習得と自らを鍛え抜いた4年間

専門性の高い分野で職務を 果たす責任とやりがいの日々

現在はソニーグループ株式会社やソニー株式会社を含む4社の固定資産領域の経理業務を担当しています。請求書処理のような日々業務はもちろん、会計ルールの差異調整や、決算資料作成、税務申告、その年度特有のプロジェクト対応に従事することもあります。

最近担当したのは、特定資産の課税所得に関する圧縮記帳のプロジェクトです。関係部署や税理士、会計士と連携しながら、税務や会計ルール、会計システムの変更に応じた新しい業務プロセスを構築していきました。専門的な知識が求められるハードなプロジェクトでしたが、グループ内での経理・固定資産のスペシャリストとして、私に任せていただけたことは大変うれしく、大きなやりがいをもって遂行していくことができました。

卒業後に進むべき道が 拓けたゼミでの学び

私が経理・会計・財務の仕事に就くことを選択したのは、大学で所属していた宮西



賢次先生のゼミで財務諸表分析や企業価値評価などを学んだことがきっかけです。宮西ゼミは、財務諸表分析に関わる分野で高い専門性を身につける必要があり、学生に求められる水準もハイレベルですが、私はあえてその環境に飛び込み、自らを鍛えていきました。宮西先生の指導はもちろん、仲間との切磋琢磨の甲斐もあり、財務諸表分析の手法やデータ分析のセンスに加えて、ディスカッションやプレゼンテーション、コミュニケーションの能力も身につけ、現在の業務に活かされています。

学生時代の取り組みの すべてが人生の糧に

私は大学入学前から、世界のどこへ行っても仕事ができるような人間になりたいと考えていたので、1年休学し、海外留学

に挑戦しました。まず、語学力を向上させようと渡ったのが英語を話すスピードが世界屈指といわれるニューヨークです。現地では語学学校での授業と並行して、通信回線販売のインターンシップにも取り組みました。企業や店舗を単独で訪問し、セールストークを行うことで、語学力だけでなく、何事にも動じず挑む勇気や忍耐力も鍛えられた気がします。さらに、ニューヨークからカンボジアに渡り、物流会社でのインターンシップを経験。先進国と新興国という異なる側面を持つ国での就業を通じて、社会や多様な人びとに対する視野や思考も広がりました。

あえて厳しい環境に身を置き、自己研鑽を積んだ滋賀大学での学生生活は、私の人生の礎になりました。大学時代、何か一つでも打ち込むことを見つけて全力を注げば、自分の自信と人生の糧になるはずだと

